

2026年

8月8日

土

— 10月5日

月

開館時間
休館日
観覧料

9時～17時

水曜日(9月の水曜日は開館)

一般800円/大学・高校生400円

中学生以下、障害者手帳、療育手帳等をお持ちの方と
付き添いの方1名は、無料 20名以上の団体1割引

※小布施町民は無料

免許証・マイナンバーカード等住所が
記載された証明書等をご提示ください。

疎開画家たちの作品を中心に

信州の ダイナミズム



おぶせミュージアム・中島千波館

〒381-0201 長野県上高井郡小布施町大字小布施 595 TEL:026-247-6111 <http://www.town.obuse.nagano.jp>



小布施
OBUSE 50

信州の ダイナミズム

疎開画家たちの作品を中心に

交流名品展は、長野県立美術館と当館とのコレクションを活用し、協働で企画・立案・実施する展覧会です。

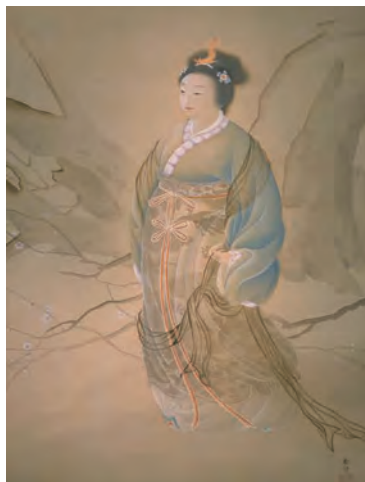
日本画家の中島清之（1899-1989）は戦中・戦後の一時期に横浜から小布施へ疎開し、多くの人と交遊を結びました。清之の一周忌にあたる平成2年、小布施で特別展を開催したことをきっかけに、清之の子息で小布施に生まれた中島千波（1945-）の作品の寄贈と、進行中だった屋台会館の建設などが組み合わさり、平成4年に当館は開館しました。

本展覧会の「ダイナミズム」にもあるように、近代から現代までは、戦争という大きな節目を挟み、社会が大きく変化した時代です。特に、第二次世界大戦によって多くの芸術家が信州に疎開し、あるいは信州出身の芸術家たちが戦地に赴きました。

本展は、中島清之が小布施へ疎開したことが当館の開館に繋がっていることをふまえ、信州ゆかりの作家の近代や戦時中の作品、信州の疎開画家の作品、そして戦争体験を経た画家の作品などで構成されています。変化し続ける時代の中でのゆまづ続けられてきた、創作の軌跡をご覧ください。



中島清之《早春訪客》1945-1947年（個人蔵）



菱田春草《羅浮仙》（部分）1901年頃（長野県立美術館蔵）



矢崎重信《霧ヶ峰》（『信濃の子供』原画1）1943年（長野県立美術館蔵）



矢沢弦月《童謡》1916年（長野県立美術館蔵）



中島清之 特別展示

8月8日(土)-10月5日(月) 会場:当館2階ギャラリー



中島清之《おん祭 馬長稚児》1942年（おぶせミュージアム・中島千波館蔵）

関連展示

小林聖花展 ある小布施の画家がみた光景
8月20日(木)-10月5日(月) 会場:木造館
(当館併設)



小林聖花《幽閉図》（個人蔵）

関連イベント

※いずれも会場は当館展示室1、2（要観覧券・申込不要）

■ 中島千波、両館学芸員によるギャラリートーク

①8月11日(火・祝) 14:00～

②9月26日(土) 14:00～

主催:おぶせミュージアム・中島千波館／小布施町教育委員会／長野県／長野県立美術館

後援:信濃毎日新聞社／朝日新聞長野総局／読売新聞長野支局／毎日新聞長野支局／産経新聞社長野支局
時事通信社長野支局／共同通信社長野支局／SBC信越放送／NBS長野放送／TSBテレビ信州
abn長野朝日放送／長野市民新聞社／長野日報社／須坂新聞社／北信ローカル・りふれ
株式会社Goolight／FM ぜんこうじ／(公財)信毎文化事業財団／(公財)八十二文化財団

おぶせミュージアム・中島千波館

〒381-0201 長野県上高井郡小布施町大字小布施 595
TEL. 026-247-6111 <http://www.town.obuse.nagano.jp>



アクセス

- ・上信越自動車道
小布施スマートICより
車で5分
- ・長野電鉄
小布施駅より徒歩12分

